

踊りの形式を弾くときに最も大事なことは、実際の踊りのように柔軟にテンポを揺り動かすことです。ゆっくりのワルツの場合も、踊りであることを忘れないでください。

強拍は、踊りの種類を見分けるためにも必要ですが、ただアクセントをつけるのではなく、強拍であると感じることが大事です。

また繰り返されるリズムのパターンが単調にならないようにしましょう。機械的に繰り返すのではなく、長いフレーズを意識するべきです。短いモチーフは大きなまとまりの要素の一部にすぎないからです。

曲全体を通して一定のテンポで演奏し、*Meno mosso* や *Piu mosso* などの表示が出てきた場合も、大げさに速さを変えすぎないようにしましょう。

アジア大会に参加されたみなさん、お疲れ様でした！

みなさんの演奏を楽しんで聴かせて頂きました。まずは、コロナ禍という困難な状況下においても、先生方や保護者の方々が若いピアニストのためにプロフェッショナルな録音環境をセッティングされ、コンクールに向けて準備されたことに敬意を表したいと思います。参加者の多くは既に上級のピアノ学習者で、高い技術をお持ちです。良い音の質、明瞭さ、そしてフレーズを美しく形作る能力もお持ちです。わくわくした気持ちや喜びが伝わってくる演奏もたくさんありましたし、将来にわたってもそのような気持ちを持ち続けて頂きたいと思いました。ただ、間違った姿勢で演奏していたり、腕が不必要な動きをしている演奏も見受けられました。それらは、今後ピアノの演奏を続ける上で影響があるかもしれないので、注意するようにしてください。

表現芸術において更なる高みを目指すには、作品についてリサーチを行い、理解を深めることが役に立つと思います。例えば舞曲を演奏する場合、その舞曲の要素や特徴を表現することが大切です。ワルツは生き生きとした踊りですが、ショパンの初期のワルツはウィーンのワルツやレントラーに影響を受けています。ですから、ペダルを伸ばしすぎないこと（ショパンは3拍目に「ペダルを外す」と書いています）で、ワルツの軽快さが表現できるでしょう。また、ショパンの音楽は常にメランコリックや抒情的とは限らず、非常に多様な雰囲気、センスの光るユーモアや楽しさも含まれています。ショパンが若い頃に家族にあてた手紙では、「フリッツ [ある田舎の音楽家] がバイオリンで踊りを演奏すると、中庭にいた人々みんなが踊りだしました。…飛び跳ねたりする踊りや、ワルツやオベレクが始まったとき、それまでは静かに体を揺らしているだけだった百姓たちも巻き込まれようと、僕がまずテクラ嬢と、そのあとにはジェヴァノフスカ夫人とも踊りました。」(1925)と書いていたこともあり、「マズール」、「クヤヴィヤク」、「オベレク」からなるマズルカは、ジャンプや不規則なアクセント、そしてエネルギッシュな拍子が特徴的なきわめて素朴な民族舞踏です。ポロネーズは、強拍にアクセントのつく厳かな行進のような踊りです。

また、オーケストラ作品、室内楽、民族音楽など様々な種類の音楽を聴いたりすることで、音楽的な感性を磨くことができ、様々な種類の楽器や声楽を聞いたり素晴らしいダンサーの踊りを鑑賞したりすることで、想像力を鍛えることもできるでしょう。それから、あらゆる造形芸術に親しむことも、音楽への情熱を更に燃え上がらせるためのインスピレーションとなるはずです。

ピアノ演奏を通して、みなさんが自身の心の内を他の人々と共有して下さったことにお礼申し上げます。2021年がみなさんにとって素晴らしい一年となりますように！

参加者みなさんのレベルが極めて高かったです。ここ何年か審査に携わっていますが、若いみなさんのピアノ演奏のレベルの高さ、また優れた音楽性に感嘆しています。

更に今年は、ロマン派の時代の美学やショパンの言語や美学を正しく理解している演奏も多く見受けられました。みなさんの才能はもちろん、先生方のご指導が優れていることの表れだと思います。

下記4つに注意を向けて、演奏してみてください。

1. アゴーギグ：テンポの急な変化や不自然なルバートは避け、またフレーズがひとまとまりとして聞こえるよう、テンポを揺らしすぎないようにしましょう。
2. バランス：旋律と伴奏のバランスに気を付けて。
3. ペダリング：的確でないペダルや音の濁りが気になりました。
4. それぞれの踊りの特徴：ワルツ、マズルカ、ポロネーズの違いを表現しきれていない演奏が目立ちました。それぞれの踊りの特徴、ステップ、性格をきちんと理解しましょう。

アジア大会まで来られた生徒さんたちは、皆とてもレベルの高い素晴らしい演奏をされたことを先ず申し上げておきたいと思います。とても良く勉強され、音楽の到達度も非常に高かったと思います。安定したテンポを取り、フレーズを豊かに表現し、強弱を的確に表現し、響きのバランスを選び、そしてそれらをスムーズなテクニックで弾きこなすことだけでも決して易しい事ではありません。しかし、アジア大会となると、「フレーズを豊かに表現する」と言葉で言うのは簡単ですが、個々に異なった意味を持つ個々のフレーズを克明に表現し分けていかなければなりません。それらの中にはどのような感情が込められているでしょうか。甘い思い出から来るものなのか、とても悲しい経験から来るものなのか、あるいはショパン自身にとっても定かでない夢のようなものかも知れません。「安定したテンポ」と言ってもそれは単にメトロノームのような正確さではなく、フレーズを呼吸で表現するように、或いはオペラ歌手がメロディーの頂点で僅かに時間を使うような歌い方をピアノに取り入れているのかもしれない。つまり、その箇所に応じた自然なテンポ感を選び抜くことが大切でしょう。ピアノは打弦楽器なので、特に長い音は艶のある美しい響きがいつまでも伸びていくようにタッチすることが大切ですし、速いパッセージは「*jeu perlé*」（フランス語で「真珠の戯れ」という意）と言う表現がありますが、軽いタッチで表現できると演奏が更に魅力的になります。左手の役割も重要で、舞曲に合ったリズム感を十分に表現し、和声を導いていくことが大切で、しばしば重要なメロディーがチェロのように出てきます。これらはほんの僅かな助言にしかありませんが、生徒さんたちの音楽に対する感覚を広げ、研ぎ澄まし、今後、様々な曲を弾いていく際のヒントにして頂けると幸いです。最後に、皆さんが今後、益々上達して行かれることを心から祈っています。

熱演がつづき大変楽しく聴かせていただきました。楽器や録音環境が異なっても「良いタッチ」「美しいバランス」「音楽に対する心からの共感」「自然な歌心」はオンラインの制約を越えて聴き取ることが出来たと思います。ホールでのライブ演奏とは違う利点も生かして、ご自分の演奏を更に客観的な良い耳で聴き直していただきたいと感じる面もありました。アジア大会まで進まれた優秀な小さなピアニストとご指導下さった先生方に、心からおめでとうございますと申し上げます。

- ・フレーズを大きくとらえてほしいです。
- ・音の響きを良く聴いて演奏してください。
- ・和音の変化、調性の変化を感じて演奏して下さい。
- ・皆さんとても良く演奏されていました。

今回、思い通りの結果にならなかった方もまだまだこれからチャンスがありますので、頑張ってください。

みなさん意欲的に取り組み良く準備されていました。この経験を生かして多くの楽曲に触れ今後の成長に繋がることと信じます。気になった点としては、メロディーの歌い方やルバートには様々な工夫があるのに比べ、伴奏リズムの扱いが無意識、無造作になっている面が見受けられました。舞曲スタイルと調和する響きをコントロールしてください。多種多様な音色の発見を目指してください。またフレーズのまとまり感を整理して流れのある大きな音楽にしましょう。